

## 抽出案件概要（一般競争入札）

項 目	説 明 内 容	
契約名 (工事・物品・役務等の別)	令和7年度植物品種等海外流出防止総合対策・推進委託事業（東アジア植物品種保護フォーラムの推進） (役務)	
概 要	日本の優良植物新品種が東アジア地域の各国において適切に保護される環境の整備を目的に、ASEAN+日中韓をメンバー国とする東アジア植物品種保護フォーラムの運営を行う。	
契約状況(方式)別 審査カテゴリ	入札・契約審査委員会 ( <input type="checkbox"/> 審査対象外 ) <input checked="" type="checkbox"/> 審査対象 [ <input type="checkbox"/> 新規案件 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度(前回)一者応札 <input type="checkbox"/> 前年度随意契約 <input type="checkbox"/> その他 ] 一者応札(応募)改善策 <input type="checkbox"/> 策定対象 <input checked="" type="checkbox"/> 策定対象外 [ <input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 次年度契約なし <input type="checkbox"/> 研究開発 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が見込まれない <input type="checkbox"/> 複数応札 <input checked="" type="checkbox"/> 総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 委託事業 <input type="checkbox"/> 予算額1,500万以上の物品・役務	
契約担当官名	支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)	
契 約 内 容	競争方式	一般競争契約(総合評価)
	応札者数	1者(うち公益社団法人等 1者)
	契約相手方	公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 法人番号 8010405000743 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 有 契約年度:令和4年度~令和6年度)
	契約締結日	令和7年4月1日
	履行期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
	予定価格 (契約限度額)	12,945,212円
	契約金額	12,945,212円
	落札率	100.0%
一般競争参加資格の 設定の理由及び経緯	資料招請:令和年月日~令和年月日 入札公告:令和7年2月5日~令和7年3月14日(37日) 証明書締切:令和7年3月17日 入札実施:令和7年3月28日 応札者の条件:「役務の提供等」の「B」等級が対象であるが、 「A」、「C」及び「D」等級を追加し、対象を拡大 【応札者の条件の設定理由】 本業務の予算額の入札参加資格は「B」等級に該当するが、「B」等級に限定した場合、資格を有する者が少数となり、応札者が現れない恐れがあることから、十分な応札者を確保するため、入札参加資格を「A」~「D」等級に拡大した。	

	<p><b>【総合評価落札方式による選定概要】</b>  本業務は、東アジア各国での植物品種保護分野の技術面・政策面での課題や政策決定のメカニズム、我が国の政策ニーズの把握を行うものであるため、総合評価落札方式によって契約相手方を選定した。  入札価格と技術等に対する総合評価の得点配分の比率は1：2であり、総合評価点（<input type="text"/>点中<input type="text"/>点（内訳：価格点（<input type="text"/>点中<input type="text"/>点）、技術点（<input type="text"/>点中<input type="text"/>点））を獲得した公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会と契約を締結した。</p>
一者応札となった原因	改善の余地が見込まれないため、一者応札となった原因分析の対象外である。
改善策	—
備考	

添付資料

- ①  仕様書(P3～P17) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P18～P19)
- ②  入札公告の写し(P20～P21)
- ③  入札執行調書の写し(P22)
- ④  一般競争契約審査調書(P23～P27)、チェックリスト(P28～P32)
- ⑤  提案書(総合評価落札方式の場合)(P33～P73)
- ⑥  技術審査委員会審査結果(P74)、技術審査検討経過記録(P75)、採点結果(P76～P79)
- ⑦  1者応札改善策チェックシート(別紙含む)(P80～P88)
- ⑧  委託事業の場合は、事業概要(P89)
- ⑨  その他参考資料(※該当がある場合、資料の名称を当該括弧内に記入) (P

## 抽出案件概要(随意契約)

項目	説明内容	
契約名 (工事・物品・役務等の別)	令和7年度2025年日本国際博覧会における食・農林水産業分野の展示支援委託事業 (役務)	
概要	2025年日本国際博覧会の食と暮らしの未来ウィーク期間中に、農林水産省の出展関係課、国税庁及び文化庁の出展関係課が検討している展示内容の調整や精査を行い、メッセ会場内及びポップアップステージ(西)の設営・撤去、会場の運営・管理等を行う事業	
契約状況(方式)別 審査カテゴリ	入札・契約審査委員会 ( <input type="checkbox"/> 審査対象外 ) <input checked="" type="checkbox"/> 審査対象 [ <input checked="" type="checkbox"/> 企画競争・公募 <input type="checkbox"/> その他の随意契約 ] 一者応札(応募)改善策 <input type="checkbox"/> 策定対象 <input checked="" type="checkbox"/> 策定対象外 [ <input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度契約なし <input type="checkbox"/> 研究開発 <input type="checkbox"/> 改善の余地が見込まれない <input type="checkbox"/> 複数応札 ] <input checked="" type="checkbox"/> 委託事業	
契約担当官名	支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)	
契約内容	契約方式	随意契約
	会計法令 根拠条文	会計法第29条の3第4項(企画競争)
	応札者数	1者(うち公益社団法人等 0者)
	契約相手方	TOPPAN株式会社 法人番号 8010501050089 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 無)
	契約締結日	令和7年4月1日
	履行期間	令和7年4月1日 ~ 令和7年10月31日
	予定価格 (契約限度額)	207,918,000円
	契約金額	207,918,000円
落札率	100.0%	
随意契約の理由 及び経緯	企画競争の公示：令和7年2月17日～令和7年3月4日(14日) 企画競争の説明会：令和7年2月21日(任意) 企画書提出締切日：令和7年3月5日 企画提案会：書面審査 応札者の条件：「役務の提供等」の「A」等級に格付けされた者  【応札者の条件の設定理由】 2025年国際博覧会での展示業務という国際的イベントでの大規模な事業であったため、「A」等級のみとした。	

	<p>【企画競争の結果概要】</p> <p>本事業は、2025年国際博覧会における出展業務を行うものであるため、一定の条件の下で企画書等により、比較検討を実施し、最も優れた者を契約候補者に選定する企画競争を実施した。</p> <p>選定に当たっては、企画競争審査要領により、審査委員会が企画提案書を審査・採点し、TOPPAN株式会社が██████点中██████点を獲得し、契約候補者となり、会計法第29条の3第4項に基づき契約を締結した。</p>
一者応札となった原因	<p>次年度契約なしであるため、一者応札となった原因分析の対象外である。</p>
改善策	—
備考	

添付資料

- ①  仕様書(P3～P25) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P26～P27)
- ②  企画競争の公告の写し(P28)
- ③  随意契約理由書(契約方式の理由)(P29～P30)
- ④  随意契約審査調書(P31～P33)、チェックリスト(P34～P38)
- ⑤  企画書(企画競争、公募の場合)(P39～P125)
- ⑥  企画審査委員会審査結果(P126～P127)、企画審査検討経過記録(P128～P129)、採点結果(P130～P139)
- ⑦  随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P140～P142)
- ⑧  1者応札改善策チェックシート(別紙含む)(P ～P )
- ⑨  委託事業の場合は、事業概要(P143)
- ⑩  その他参考資料( ※該当がある場合、資料の名称を当該括弧内に記入 ) (P)

## 抽出案件概要(随意契約)

項目	説明内容	
契約名 (工事・物品・役務等の別)	令和7年度牛肉トレーサビリティ業務委託事業(DNA鑑定照合用サンプル採取) (役務)	
概要	・国内のと畜場でと畜される全ての牛枝肉から照合用サンプルを採取し、DNA鑑定機関に送付する。 ・採取に関するデータをDNA鑑定機関に送付し、保存する。	
契約状況(方式)別 審査カテゴリ	入札・契約審査委員会 ( <input type="checkbox"/> 審査対象外 ) <input checked="" type="checkbox"/> 審査対象 [ <input checked="" type="checkbox"/> 企画競争・公募 <input type="checkbox"/> その他の随意契約 ] 一者応札(応募)改善策 <input type="checkbox"/> 策定対象 <input checked="" type="checkbox"/> 策定対象外 [ <input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 次年度契約なし <input type="checkbox"/> 研究開発 <input type="checkbox"/> 改善の余地が見込まれない <input type="checkbox"/> 複数応札 ] <input checked="" type="checkbox"/> 委託事業	
契約担当官名	支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)	
契約内容	契約方式	随意契約
	会計法令 根拠条文	会計法第29条の3第4項(公募)
	応札者数	1者(うち公益社団法人等 1者)
	契約相手方	公益社団法人 日本食肉格付協会 法人番号 8010005016652 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 有 契約年度: 令和4年度~令和6年度)
	契約締結日	令和7年4月1日
	履行期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
	予定価格 (契約限度額)	210,914,000円
	契約金額	209,067,590円
落札率	99.1%	
	公募期間: 令和7年2月4日 ~ 令和7年2月20日 (15日) 説明会: - 応募申込書等の提出期限: 令和7年2月21日  応札者の条件: 「役務の提供等」の「A」等級が対象であるが、「B」、「C」及び「D」等級を追加し、対象者を拡大している。	

<p>随意契約の理由 及び経緯</p>	<p>【応札者の条件の設定理由】 当委託事業の予算額に対応する応募参加者は「A」ランクに該当する業者であるが、牛肉に関するDNA鑑定照合用サンプルを採取できる事業者が少数であるため、「A」ランクの有資格者に限定した場合、応募者が少数と見込まれる上に応募者がいないことも懸念される。したがって、農林水産省物品・役務等契約事務取扱要領第2条の2第1項第4号に該当するため直近下位の「B」ランクを加え、幅広い応募参加条件としたい。</p> <p>また、当該等級においても応募者数が少ないと見込まれることから、十分な競争性を確保するために、さらに同条第2項に基づく2等級以上の下位等級の「C」ランク及び「D」ランクを加えることし、「A」、「B」、「C」及び「D」ランクを応募参加資格としたい。</p> <p>【公募の結果概要】 応札者の条件を満たす者としては、現在まで、公益社団法人日本食肉格付協会（以下「格付協会」という。）しか確認されていないが、本事業を履行するに足る技能を有する者の存在の可能性を排除しないとの観点から、令和7年度においても公募を実施した。 公募の結果、格付協会からの応募のみであったことから、会計法第29条の3第4項(公募)に基づき契約を締結した。</p>
<p>一者応札となった原因</p>	<p>—</p>
<p>改善策</p>	<p>—</p>
<p>備考</p>	

添付資料

- ①  仕様書(P3～P23) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P24～P25)
- ②  公募の公告の写し(P26)
- ③  随意契約理由書(契約方式の理由)(P27～P28)
- ④  随意契約審査調書(P29～P30)、チェックリスト(P31～P34)
- ⑤  企画書(企画競争、公募の場合)(P35～P40)
- ⑥  企画審査委員会審査結果(P)、採点結果(P～P)、企画審査検討経過記録(P～P)
- ⑦  随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P41～P44)
- ⑧  1者応札改善策チェックシート(別紙含む)(P～P)
- ⑨  委託事業の場合は、事業概要(P45)
- ⑩  その他参考資料(※該当がある場合、資料の名称を当該括弧内に記入)(P)

## 抽出案件概要(随意契約)

項目	説明内容	
契約名 (工事・物品・役務等の別)	令和7年度輸出環境整備推進委託事業(輸入規制情報の収集及び法的整理等) (役務)	
概要	(1) SPS通報及びTBT通報の翻訳等 (2) 諸外国による輸入規制の法的な観点からの相談対応業務 (3) (1)及び(2)に付随する業務	
契約状況(方式)別 審査カテゴリ	入札・契約審査委員会 ( <input type="checkbox"/> 審査対象外 ) <input checked="" type="checkbox"/> 審査対象 [ <input checked="" type="checkbox"/> 企画競争・公募 <input type="checkbox"/> その他の随意契約 ] 一者応札(応募)改善策 <input checked="" type="checkbox"/> 策定対象 <input type="checkbox"/> 策定対象外 [ <input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 次年度契約なし <input type="checkbox"/> 研究開発 <input type="checkbox"/> 改善の余地が見込まれない <input type="checkbox"/> 複数応札 ] <input checked="" type="checkbox"/> 委託事業	
契約担当官名	支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)	
契約内容	契約方式	随意契約
	会計法令 根拠条文	会計法第29条の3第4項(企画競争)
	応札者数	1者(うち公益社団法人等 0者)
	契約相手方	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 法人番号5010405014309 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 有 契約年度:令和5年度~令和6年度)
	契約締結日	令和7年4月1日
	履行期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月23日
	予定価格 (契約限度額)	77,726,000円
	契約金額	77,726,000円
落札率	100.0%	
随意契約の理由 及び経緯	企画競争の公示: 令和7年2月13日 ~ 令和7年3月4日(18日) 企画競争の説明会: 令和7年2月19日(任意) 企画書提出締切日: 令和7年3月4日 企画提案会: 令和7年3月6日 応札者の条件: 「役務の提供等」の「A」等級が対象であるが、 「B」及び「C」等級を追加し、対象を拡大した。  【応札者の条件の設定理由】 競争参加資格を「A」等級のみに限定した場合、SPS通報やTBT通報を中心に輸入規制に関する情報を適切に翻訳できる語学力や、各輸入規制の対象となる越境性疾病、病害虫、農薬、食品添加物、表示、容器包装等、非食品も含む農林水産行政に関わる専門的内容を理解分析する能力、更に、輸入規制に関する情報が国際法や我が国及び輸出先国の国内法、国際的な慣習等を踏まえ法的観点から整理する能力を有する事業者が少なく、応札者数が少数と見込まれる上に、1者応札や応札者がいないことも懸念されたことから、「A」、「B」又は「C」等級に拡大した。	

	<p>【企画競争の結果概要】</p> <p>本業務は、SPS通報やTBT通報を中心に輸入規制に関する情報を適切に収集し翻訳できる能力、②輸入規制の対象となる越境性疾病、病害虫、農薬、食品添加物、表示、容器包装等、非食品も含む農林水産行政に関わる専門的内容を理解分析する能力、③輸入規制に関する情報が国際法や我が国及び輸出先国の国内法、国際的な慣習等を踏まえ法的観点から整理する能力といった高い専門性が要求されるものであるため、広く企画提案を公募し、一定の条件の下で企画提案書及びプレゼンテーション等により比較検討を実施し、最も優れた者を契約候補者に選定する企画競争を実施した。</p> <p>選定に当たっては、企画審査基準により、企画審査委員会が企画提案書を審査・採点し、西村あさひ法律事務所・外国法共同事業が■■点中■■点を獲得し、契約候補者となり、会計法第29条の3第4項に基づき契約を締結した。</p>
<p>一者応札となった原因</p>	<p>(企画競争等の説明書受領業者一者、企画競争説明会参加業者1者)</p> <p>令和6年度事業のアンケート調査では特段の要望は示されず、「社内体制や業務都合により参加を見送った」とのことで、次回以降の入札意思が示されていたことから、令和7年度は令和6年度同様の応募要領により実施したが、結果として1社応札となったもの。</p> <p>(考えられる原因)</p> <p>過去に企画競争説明会や企画提案会に参加した事業者2者に対し、アンケートを実施し、原因を分析した結果、</p> <p>①英語以外の多言語への対応の困難性  ②SPS/TBT等の専門家確保の困難性  ③業務が膨大かつ広範囲なことによる人員確保の困難性  ④公告期間が短い  などが理由と考えられる。</p>
<p>改 善 策</p>	<p>アンケート調査の結果を踏まえ、改善策として、</p> <p>①、②及び③については、再委託やコンソーシアムでの入札参加を可としているところであるが、再委託は仕様書に明記しているものの、コンソーシアムでの入札参加については仕様書に記載がないため、明記することとし、さらに、入札説明会において、これら点をより明確に説明することとする(英語以外の言語対応にかかる想定外のコストの可能性による積算の困難性についても再委託により対応可と考える)。</p> <p>④については、可能な限り入札公告の早期化をするとともに公告期間を前年度以上に延長することとする。</p>
<p>備 考</p>	

添付資料

- ①  仕様書(P3～P25) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P26～P27)
- ②  企画競争の公告の写し(P28)
- ③  随意契約理由書(契約方式の理由)(P29～P30)
- ④  随意契約審査調書(P31～P33)、チェックリスト(P34～P38)
- ⑤  企画書(企画競争、公募の場合)(P39～P131)
- ⑥  企画審査委員会審査結果(P132～P133)、企画審査検討経過記録(P134)、採点結果(P135～P137)
- ⑦  随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P138～P145)
- ⑧  1者応札改善策チェックシート(別紙含む)(P146～P153)
- ⑨  委託事業の場合は、事業概要(P154)
- ⑩  その他参考資料(※該当がある場合、資料の名称を当該括弧内に記入 ) (P)

抽出案件概要（随意契約）

項 目		説 明 内 容
契約名 (工事・物品・役務等の別)		令和7年度動物用医薬品安定供給対策委託事業のうち動物用医薬品産学官連携プラットフォーム運営等委託事業 (役務)
概 要		動物用医薬品産学官連携プラットフォームのもと、動物用医薬品の安定供給に向けた取組を検討するために開催する定例会及びワーキンググループを運営する。
契約状況(方式)別 審査カテゴリ		入札・契約審査委員会 ( <input type="checkbox"/> 審査対象外 ) <input checked="" type="checkbox"/> 審査対象 [ <input checked="" type="checkbox"/> 企画競争・公募 <input type="checkbox"/> その他の随意契約 ] 一者応札(応募)改善策 <input checked="" type="checkbox"/> 策定対象 <input type="checkbox"/> 策定対象外 [ <input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 次年度契約なし <input type="checkbox"/> 研究開発 <input type="checkbox"/> 改善の余地が見込まれない <input type="checkbox"/> 複数応札 ] <input checked="" type="checkbox"/> 委託事業
契約担当官名		支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)
契 約 内 容	契約方式	随意契約
	会計法令 根拠条文	会計法第29条の3第4項(企画競争)
	応札者数	1者(うち公益社団法人等 1者)
	契約相手方	公益社団法人日本動物用医薬品協会 法人番号 5010005003827 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 無)
	契約締結日	令和7年 4月 2日
	履行期間	令和7年 4月 2日～令和8年 3月 16日
	予定価格 (契約限度額)	4,942,134円
	契約金額	4,939,125円
落札率	99.9%	
随意契約の理由 及び経緯		企画競争の公示：令和7年2月7日～令和7年3月3日(23日) 企画競争の説明会：令和7年2月18日(必須) 企画書提出締切日：令和7年3月4日 企画提案会：令和7年3月6日 応札者の条件：「役務の提供等」の「C」等級が対象であるが、「A」、「B」及び「D」等級を追加し、対象を拡大した。  【応札者の条件の設定理由】 本事業は専門的な分野の業務であるため、当該ランクの資格を有する者のみに限定すると、応募者数が少数と見込まれる上に、1者応募や応募者がいないことも懸念されるため、十分な競争性を確保するため、「A」、「B」、「C」又は「D」等級に拡大した。

	<p>【企画競争の結果概要】</p> <p>本業務は、動物用ワクチン戦略を踏まえ新たに立ち上げたプラットフォームの運営を行うものであるため、企画提案会を開催し提案者による企画提案や意見交換により、最も優れた者を契約候補者に選定する企画競争を実施した。</p> <p>選定に当たっては、企画審査基準により、企画審査委員会が企画提案書を審査・採点し、公益社団法人動物用医薬品協会が██████点中██████点を獲得し、契約候補者となり、会計法第29条の3第4項に基づき契約を締結した。</p>
一者応札となった原因	<p>(企画競争等の説明書受領業者一、企画競争説明会参加業者1者)</p> <p>本業務は令和7年度に初めて実施する業務であり、開庁日で14日間を確保し応募要領の公示を行ったが、結果として1者応札となったもの。</p> <p>(考えられる原因)</p> <p>関係団体1者に対しヒアリング調査を実施し、原因を分析した結果、</p> <p>①本業務は令和7年度に初めて実施する業務であることから参考となる過去の成果物等の情報がなく、リスクがあると判断されたこと。</p> <p>②業務内容、業務量の記載が不明確で分かりにくく、把握ができなかったこと。</p> <p>③専門性の高い分野の業務であるため、専門分野に関する知識を有した業者でないと受託が困難と判断されたこと。</p> <p>などが理由と考えられる。</p>
改 善 策	<p>①については、新規参入事業者が事業計画や実施体制の検討、必要な人員の確保ができるよう、次年度においては、令和7年度の成果物のHP掲載情報などを仕様書に記載するとともに説明会等でもその旨を説明する。</p> <p>②については、事業者が業務内容や業務量が把握しやすいよう会議の開催回数や参加人数の具体的な記載や、会議資料作成に係る委託範囲を明記するなど仕様書の記載を見直すとともに、説明会等でその旨を説明する。</p> <p>③については、事業者が専門分野に関する知識を有する業者と共同で対応できるよう、引き続き、共同事業体での参加を可能とする要件を設定するとともに、仕様書に共同事業体での参加や再委託に関する記載を明示し、説明会等でもその旨を説明する。</p>
備 考	

添付資料

- ①  仕様書(P3～P42) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P43～P44)
- ②  企画競争の公告の写し(P45)
- ③  随意契約理由書(契約方式の理由)(P46～P48)
- ④  随意契約審査調書(P49～P53)、チェックリスト(P54～P58)
- ⑤  企画書(企画競争、公募の場合)(P59～P64)
- ⑥  企画審査委員会審査結果(P65～P67)、企画審査検討経過記録(P68～P69)、採点結果(P70～P74)
- ⑦  随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P75～P77)
- ⑧  1者応札改善策チェックシート(別紙含む)(P78～P83)
- ⑨  委託事業の場合は、事業概要(P84)
- ⑩  その他参考資料(※該当がある場合、資料の名称を当該括弧内に記入 ) (P)